

北部九州インターハイあす競技開始

福岡県など九州北部を舞台にした全国高校総合体育大会(インターハイ)「ありがとうを強さに変えて北部九州総体2024」は22日、先行開催のソフトボールを皮切りに各競技が始まる。8月20日までの約1カ月間、全国の精鋭たちが日本一を目指し、熱戦を繰り広げる。青森県勢は選手469人が出場。総合開会式は27日、福岡県久留米市で行われる。

県勢の活躍を展望すると、団体競技では、バスケットボール(8月4〜9日・福岡市)の男子は、東北初優勝を果たした八学光星が全国8強以上へ闘志を燃やす。

バスケット男子 光星8強へ闘志

サッカー男子(7月27日〜8月3日・福島県楡葉町)、レスリング(8月1〜4日・佐賀県嬉野市)男子65回戦負けの雪辱を果たす。キ級の久田虎徹(工大)、か。バドミントン(7月31日〜8月4日・佐賀市)は、男子ライトウエル男女ともに、今年3月の全国選抜大会準Vの青森山田(一)、陸上(7月28日〜8月1日・福岡市)男子短距離の鳥谷部陽向(三沢)も個人競技は、自転車トラップ(7月26〜28日・福岡市)の女子ケイリンで室谷榎音(青森商)に連覇が懸かる。

相撲(7月31日〜8月2日・大分県宇佐市)の個人体重別80キ級は、全国選抜大会で8強の川口正太郎(三農恵拓)が優勝候補の一角。他のメンバーが気を吐けば、団体優勝もあり得る。

ソフトテニス(7月26日〜8月1日・長崎市)男子団体の三本木、バスケット女子の青森商など、県で初戴冠した勢いそのままに全国初勝利を狙いたいところだ。

(磯野雄太郎)